

Title of the Invention:

Bolt

What is claimed is:

A bolt in which the extremity end of a threaded part of the bolt is formed with a notch hole having a hexagonal shape, or a (+) or a (-) shape.

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3016308号

(45) 発行日 平成7年(1995)10月3日

(24) 登録日 平成7年(1995)7月19日

(51) Int.Cl.⁶

F 16 B 23/00
35/00

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

J

M

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21) 出願番号

実願平7-4201

(73) 実用新案権者 595065220

和田 修行

大阪府吹田市春日1丁目1番6号-103

(22) 出願日

平成7年(1995)3月28日

(72) 考案者 和田 修行

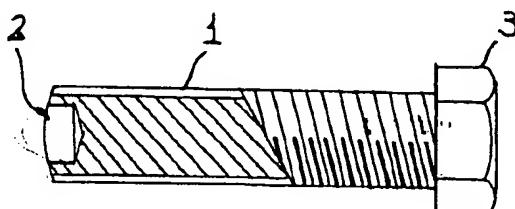
大阪府吹田市春日1丁目1番6号-103

(54) 【考案の名称】 ボルト

(57) 【要約】

【目的】 ボルトで締結した接合部分が、破断した時に、このボルトの螺軸を取り除く作業は、非常に困難であった。この場合に、六角アーレンや、ドライバーで簡単に弛めて、陥没した螺軸を取り除くのが目的である。

【構成】 ボルトの螺軸(1)の先端部に、六角形や、+、-の凹穴(2)を形成する事によって、螺孔(4)内に陥没した螺軸(1)を、取り除く作業が簡単である。



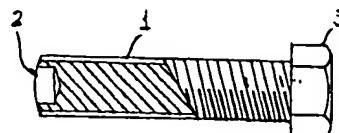
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ボルトの、螺軸部分の先端部に、六角形や、+、-の凹穴を形成したボルト。

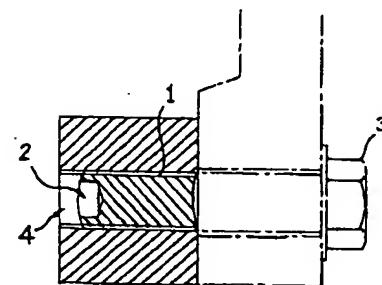
【図面の簡単な説明】

【図1】 本案の断面図

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】

この考案は、ボルトの、螺軸部分の先端部に、六角形や、+、-の凹穴を形成したボルトである。通常に於いては、ボルトで締結した接合部分が弛む事はないが、振動や、衝撃などで、この締結が弛むと、この接合部でボルトが破断される事があり、修理の時に、この破断したボルトの螺軸を取り除く作業は、非常に困難である。また、ボルトの頭部が欠落する事もあり、同様に、そのボルトの螺軸部を、取り除く作業は困難である。

本案は、この様な時にも、ボルトの螺軸を、(通称)六角アーレンや、ドライバーで、簡単に弛める事が出来るように考案したものである。

図面に示したように、ボルトの螺軸(1)の先端部に、六角形や、+、-の凹穴を形成し、この凹穴(2)に六角アーレンや、ドライバー等の工具を挿入できるようにしたのである。

締結した接合部で破断したボルトの螺軸(1)は、その接合された部材の螺孔(4)内に陥没して、この螺軸を取り除く作業は、非常に困難であったが、ボルトの螺軸(1)は、締結した時の締圧力が解放されて居るので、その螺軸(1)を弛めるのに、強い回転力は必要としないのである。

もちろん、ボルトの頭部(3)が欠落した場合であっても、同様に弛めて取り除く事ができる。しかし、この接合される部材の螺孔(4)が、貫通している事が条件と成る。